

## 落語とお食事会

平成 27 年 10 月 18 日（日）午前 11 時より皆楽荘大広間に地域の 77 歳以上の方 50 余名をお招きして「落語とお食事会」が行われました。演者は横浜市職員落語愛好会に所属されている絵書家筆之輔さんと湊家加け橋さんのお二人。「一笑懸命」をモットーに本格的落語家を目指しているだけあってセミプロ級の腕前に会場は拍手喝采。時の経つのを忘れて、大いに笑った後の食事も好評でした。包括支援センターの仁木さんも浴衣姿で登場し、舞台上に正座してのお話に皆さん熱心に耳を傾けていらっしゃいました。



## 福祉講座

## 老化予防体操

老化って？何歳から？……

そんな身体の変化をゆっくり！！

7月26日(日)のコミセンまつりの講座が、大会議室で行われました。朝一番の講座でしたが、48人の出席があり、会話を交えて和気あいあいとした雰囲気の中、イスに座りながら新聞紙を丸めて作った棒を実際に右に左に上に下へと動かしながら、約40分、家の中でもできる簡単な運動をしました。とはいえ身体と頭を同時に使う運動で、左右の腕の動かし方に変化を加えた脳細胞が驚いてしまいそうな動きでした。湘南さくら病院に勤務する作業療法士の方々に優しく楽しく教えていただきました。講座後も続けて運動ができるといいですね。



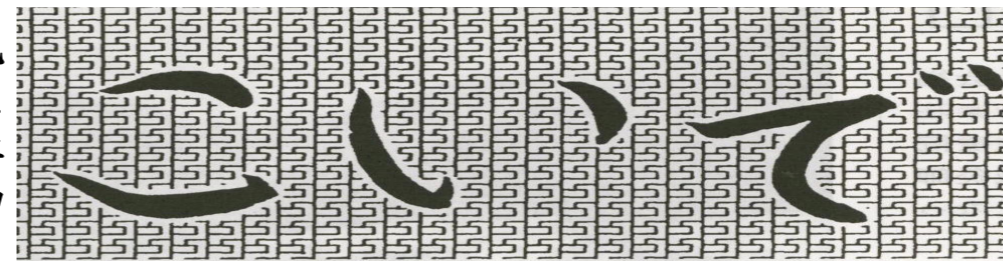
## 認知症！！ やさしい社会・つめたい社会 ～地域から智域へ～

平成 28 年 3 月 26 日(土)午後 1 時 30 分から小出コミセン大会議室にて「認知症！！やさしい社会・つめたい社会 ～地域から智域へ～」の表題の講演会が開催されました。出足よく 12 時半頃から三々五々参加者が集まり、最終的には 100 人を超える程でした。

講師の渡辺哲雄（日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員）さんのご自身の体験に裏打ちされたお話は、笑いあふれるなか、聴衆の心に染み込み、本当のやさしさとは何か、知らないことの恐ろしさ、「意思」を確かめる大事さを考えさせられました。講師からは後日「熱心に聴いて下さり、話しやすい会場でした。またお目にかかりたく存じます。」という言葉いただきました。



## 地区社協



## 第 45 号

(平成 28 年 3 月 31 日)

小出地区社会福祉協議会

会長 五十嵐 清夫

茅ヶ崎市芹沢 1388-4

☎ 51-5301

## 小出地区社協が設立 30 周年を迎えました。

小出地区社協は、昭和 61 年 2 月に、茅ヶ崎市では 10 番目の地区社協として発足しました。30 年にわたり地域福祉の推進にご尽力いただいたこれまでの会長さんをはじめ諸先輩の方々に、改めて厚くお礼を申し上げます。

30 年の歴史を顧みながら記念誌に纏める事ができましたが、各戸配布までには至りませんでしたので、ダイジェスト版としてこの紙面でお知らせいたします。

小出地区の社会福祉の環境が大きく変化中、これからの 40 年に向かって住みやすい地域に体質を整えていく必要があります。そのために地区社協としては、自治会・民児協・包括支援センター並びに多くの団体と連携して地域づくりを進めていきます。今後は顔の見える人間関係を深めるところからスタートしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

小出地区社会福祉協議会

会長 五十嵐 清夫

## 祝 30 周年記念式典 開催

平成 28 年 2 月 21 日（日）午後 1 時 30 分から小出コミセン大会議室において、市長を始めとする来賓ご臨席のもと地区社協設立 30 周年記念式典が行われました。

祝辞では前会長による設立当時のエピソードが披露され、また多年に渡り刃物研ぎのチャリティー代金を寄付して下さった神奈川土建茅ヶ崎・寒川支部小出分会（代表 安高仁男さん）及び催事の度に看板等を書いて下さった大久明子さんに感謝状と記念品の贈呈を行いました。

引き続いての祝賀パーティーは、手作りの料理やケーキに参加者一同会話が弾み、当初の予定を 30 分延長して盛会のうちに閉会となりました。

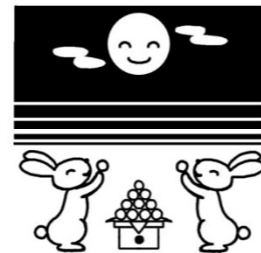




# 小出地区社会福祉協議会 30年のあゆみ ダイジェスト版



年/月	主な事業
S61(1986)/2月	市内10番目の地区社協として発足 初代会長に相田文治さん選出
10月	ゲートボール大会を開催(以後平成8年まで主催事業として継続)
12月	施設研修開始「芹沢ホーム」「カトレア・ホーム」(現在も毎年継続)
S63(1988)/10月	77歳以上の方を対象として、映画とお食事会始まる(現在まで「〇〇とお食事会」として毎年継続)
H元(1989)/12月	施設研修「子どもの園」訪問
H2(1990)/7月	施設研修「アザレアホーム」訪問
H3(1991)/10月	ひとりぐらし・ねたきり老人慰問開始(以後現在まで在宅介護家庭にシーツなどを贈る)
H4(1992)/4月	車椅子の貸出し開始
7月	施設研修「ふれあいの森」訪問
9月	小出地区社協主催の福祉講座開始(以後現在まで毎年2回開催)
H5(1993)/2月	宅配給食開始に向けて始動
5月	第2代会長に浅田正允さん就任
8月	小出地区コミュニティセンターオープン
11月	臨時総会で宅配給食事業可決
H6(1994)/5月	宅配給食サービススタート(平成13年10月に終了)
7月	夏の福祉講演会はコミセンまつりの中で開催されるようになった
H7(1995)/11月	「小出まつり」に初参加 福祉もちつきをする
H10(1998)/8月	施設研修「ケアハウスふれあいの里」訪問
H11(1999)/11月	北陽中バザーに初参加(現在も毎年参加)
H12(2000)/5月	第3代会長に矢野福德さん就任
H13(2001)/5月	福祉委員(各自治会より1~3名)制度導入
9月	「ほのぼの小出」第1回開催(1番目のサロン)
H15(2003)/10月	神奈川県福祉協議会より茅ヶ崎の11地区社協表彰される
H16(2004)/5月	「むくろじ」オープン(2番目のサロン)
7月	「おしゃべりいろは」オープン(3番目のサロン)
H17(2005)/11月	マッサージ出張治療開始
H19(2007)/10月	「推進協まつり」に初参加ー福祉体験コーナー



H21(2009)/2月	福祉講座「介助犬がやってきた」講師 NPO 法人ウェルフェアポート 湘南(芹沢)
11月	小出ボランティアセンター開所
H22(2010)/5月	第4代会長に五十嵐清夫さん就任
7月	「楽々ひろば」オープン(4番目のサロン)
H23(2011)/3月	東日本大震災起こるーボランティアセンター内に義援金箱を設置
12月	施設研修「ふれあいの桜」「ふれあいの森」「ケアハウスふれあいの里」訪問
H24(2012)/7月	小出地区出身の漫才コンビ「囲碁将棋」による福祉講座を開催
9月	マジックショーとお食事会がNHKの取材放映
H25(2013)/10月	「包括支援センターわかば」開設「福祉相談室わかば」を併設
H27(2015)/3月	「住み慣れたまちの地域福祉を考える懇談会」まちぢから協議会と共催
H28(2016)/2月	設立30周年記念式典・祝賀会を開催

(注)30年のあゆみをダイジェスト版にてざっと振り返って見ましたが、いかがでしたでしょうか？  
それぞれの事業のスタート部分だけを取り出しましたが、各事業は現在も展開しています。  
福祉講座は、年2回、施設研修は年1回、推進協まつりには、福祉体験コーナーとして参加し、北陽中のバザーには物品の販売で参加協力を継続して実施しています。  
また4つのサロン「ほのぼの小出」「むくろじ」「おしゃべりいろは」「楽々ひろば」はそれぞれ元気いっぱい活動しています。みなさまのお越しをお待ちしています。



ほのぼの小出



むくろじ



おしゃべりいろは



楽々ひろば